

インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進や学習指導要領の改訂に伴い、『個別の教育支援計画を作成するために－「家庭や関係機関と連携した支援のためのツール」－（平成23年3月）』を一部改訂いたします。

☆ 改訂は以下の2点です。

(改訂のポイント ①)

○巻末資料【書式見本（幼稚園・小学校）】個別の教育支援計画（2）

「教育に関する支援」の欄に「合理的配慮」の記入欄を追加

(改訂のポイント ②)

・巻末資料【書式見本（幼稚園・小学校）・中学校・高等学校】同意書

「必要な情報を関係機関と共有し、個別の教育支援計画を活用することに同意します」

各校におきまして、幼児児童生徒のために活用をお願いいたします。

（平成30年7月 徳島県立総合教育センター 特別支援・相談課）

同 意 書

〇〇学校(園)長 殿

今後の支援をしていくために必要な情報を**関係機関と共有し**、
個別の教育支援計画を**活用する**ことに同意します。

平成 年 月 日

保護者氏名 印

お子さんの氏名

「個別の教育支援計画」について

- 「個別の教育支援計画」は、お子さんを乳幼児期から学校卒業後まで、医療・保健・福祉・労働等の関係機関が連携して支援していくために作成するものです。
- 家庭と学校とが連携してお子さんの支援を行うために情報を共有しようとするもので、保護者の同意が得られた内容のみを記入します。
- 記載内容は個人情報ですので、お子さんの支援のために利用し、それ以外の目的に使用することはなく、情報の管理等その取り扱いには慎重を期します。
- 保護者の申し出により、同意を取り消すこともできます。
- 「個別の教育支援計画」の**活用にもなう関係機関との情報共有**を拒否されても、何ら不利益を被ることはありません。

個別の教育支援計画 (2)

学 年	_____ 小学校 第 _____ 学年 (_____ 幼稚園 年長・年少)		
本人・保護者の 希 望			
目 標			
教育に関する 支 援	学級担任 (_____)	〈支援内容〉	(別添資料)
	コーディネーター (_____)		
<div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; display: inline-block; border-radius: 10px;"> 必要な配慮・支援 (合理的配慮) </div>			
医療に関する 支 援	医療機関名 (_____) 主治医 (_____)	〈支援内容〉	(別添資料)
保健に関する 支 援	保健機関名 (_____) 担当者 (_____)	〈支援内容〉	(別添資料)
福祉に関する 支 援	福祉機関名 (_____) 担当者 (_____)	〈支援内容〉	(別添資料)
その他の支援		〈支援内容〉	(別添資料)
評 価			

確認印
又は
サイン

記入者		保護者		校 長 (園長)	
-----	--	-----	--	-------------	--

個別の教育支援計画 (2)

学 年	_____ 学校 第 _____ 学年		
本人・保護者の 希 望			
目 標			
教育に関する 支 援	学級担任 ()	〈支援内容〉	(別添資料)
	コーディネーター ()		
<div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; display: inline-block; border-radius: 10px;"> 必要な配慮・支援 (合理的配慮) </div>			
医療に関する 支 援	医療機関名 () 主治医 ()	〈支援内容〉	(別添資料)
保健に関する 支 援	保健機関名 () 担当者 ()	〈支援内容〉	(別添資料)
福祉に関する 支 援	福祉機関名 () 担当者 ()	〈支援内容〉	(別添資料)
その他の支援		〈支援内容〉	(別添資料)
評 価			

確認印
又は
サイン

記入者		保護者		校 長 (園長)	
-----	--	-----	--	-------------	--

個別の教育支援計画 (2)

学 年	〇〇 小学校 第 1 学年		※本人や保護者と十分に話し合う機会を持ち、希望や要望等について記入します。
本人・保護者の希望	1 友達と仲良く遊べるようになって欲しい。 2 国語・算数は個別指導で、本人に応じた内容の学習をして欲しい。		
目 標	1 友達とのコミュニケーションがうまくとれるようにする。 2 国語や算数の学力を育てる。		
教育に関する支援	学級担任 1-1 担任 〇〇〇〇教諭 コーディネーター 〇〇〇〇教諭	〈支援内容〉 ・通常の学級の中では、ソーシャルスキルを身につける学習とともに、仲間作りができるように配慮している。 ・国語(7時間/週)、算数(5時間/週)を特別支援学級で実施。体育、図工、音楽の授業では特別支援学級担任がT2として支援している。	(別添資料) 個別の指導計画 ※「個別の指導計画」や「個別移行支援計画」、サポートブック、就学支援シート、心理検査に関する資料等があれば添付します。
※目標を達成するための教育的な支援や指導内容を記入します。「個別の指導計画」は、これをもとに、指導内容や指導方法をより具体化して作成します。			
<b style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">必要な配慮・支援 (合理的配慮) ・授業中、いらいらした時、タイムアウトカードを提出すれば気分転換のため5分間だけ教室外に出ることを認める。 ・級友トラブルに関して指導するときは、一度別室でクールダウンさせる。指導は感情が落ち着いてから個別に本人の話を十分に聞いた上で行う。 ・通常の学級の中では個別の声かけがしやすいよう、座席を前にする。			
医療に関する支援	医療機関名 徳島大医学部 主治医 〇〇先生	〈支援内容〉 ・〇ヵ月に1回の定期受診 ・1日2回(朝夕)の服薬。	本人の障がいの状態や特性を考慮し、学校と保護者・本人が同意した「学校生活を送る上で必要と思われる配慮」を記述します。 *合理的配慮の観点や障がい種別の実践事例については、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所が運営する「インクルーシブ教育システム構築支援データベース」を参考にしてください。
保健に関する支援	保健機関名 () 担当者 ()	〈支援内容〉 ※【医療・福祉・保健】子どものその学年でかかわる関係機関等からの支援を記入します。	
福祉に関する支援	福祉機関名 更生施設 〇〇〇〇園 担当者 〇〇〇〇	〈支援内容〉 ・地域療育等支援事業コーディネーター〇〇〇〇さんとの療育相談を定期的に実施。	(別添資料) 相談記録
その他の支援	学童保育 〇〇〇センター	〈支援内容〉 週3日(月・水・金)放課後利用。 週2日(火・木)放課後利用。	(別添資料) 連絡ノート
評 価	特定の友達と遊べるようになりつつある。時々、友達の嫌がることを言ったり、ルールが守れないことがあるので、ソーシャルスキルトレーニングを継続していく必要がある。 個別の指導計画にもとづいた学習をとおして、算数では、計算力が高まってきた。また、国語についても、文字が丁寧に書け、言葉の理解力も向上が見られる。		

※学年末に「個別の教育支援計画」の記述内容について保護者と協議し、最後に記入者・保護者・校長の確認印またはサインをします。

確認印
又は
サイン

記入者	□□□□	保護者	◎◎◎◎	校長 (園長)	◇◇◇◇
-----	------	-----	------	------------	------